



プラモデル文化を世界へ タイへの生産委託で製造原価 20%の削減に成功



創業者は日本初のプラモデルの金型を製造した職人として知られる。現在はプラモデルを中心としたインジェクション金型の設計・製作のほか、プラモデルの企画・設計から製造にいたるまでのサポートや自社ブランド玩具等の開発・製造・販売を行っている。手がけた金型は2000種以上。

「プラモデル文化を世界へ」の想いから、 海外企業との連携を開始！

当社は1978年にプラモデルの金型作りを行う会社としてスタートし、以後40年以上にわたり、プラモデルの企画・設計・製造を行ってきました。その間、少子化によるマーケットの縮小や国内製造コストの上昇といった問題に直面しましたが、日本独自のニッチな文化とも言える「プラモデル文化」を何としても継承・復活させたい、できれば海外の人たちにも知って欲しいという熱い思いを持ち続けてきました。そんなとき、公社の「海外展開チャレンジ支援」に出会います。2018年のことです。

当初は海外を「マーケット」として考えていましたが、公社のプランマネージャーと議論を重ねるうちに、製造コストの削減を優先させるべきだということに気づきます。そこで、翌年2019年に「海外企業連携プロジェクト」に申し込み、ナビゲータがリストアップしてくれた複数の国・会社の候補企業の中から、最終的にタイの企業を選択し、生産委託を始めました。仕上がりもよく、20%の生産原価の削減にも成功し、初めての海外展開としては上々の成果を収めることができた大変満足しました。

企業リストアップから商談アテンドなど、 公社バックアップを活用し原価低減に成功

「さあこれから」という時に、コロナウイルスのパンデミックが世界を、そしてプラモデル業界を襲います。国内需要が乱高下し、今後の展望が不透明になりました。タイの生産原価も徐々に上がり、以前のような成果を感じにくくもなりました。この状況を打開するため、改めて公社に相談し、2019年に企業連携ナビゲータの企業リストアップ（ベトナムサポートデスク）のサービスを利用することにしました。いまはベトナムでの生産拠点の構築に取り組んでいる最中です。

それにしても、わたしが先代からいまの会社を引き継ぐときに、公社の「事業承継プログラム」を活用したのがはじまりですから、思えば公社とのお付き合いも大変長くなりました。中小企業が海外に進出するのは、想像以上に難しいことです。しかし公社は、持っているネットワークをフル活用して、信頼度の高い複数の委託先候補をピックアップし、現地でのアテンドや通訳を提供してくれ、万全のバックアップ体制を敷いてくれました。もう「便利」というレベルを超えた、なくてはならない海外展開の「パートナー」です。

今後の当面の目標は、海外における金型の生産拠点をさらに増やすことです。でもその先には、海外の人たちに日本のプラモデル文化を知ってもらい、たくさんのファンを獲得したいという夢があります。さらに国内でも、プラモデル世代の中高年に訴求しつつ、現代の子どもたちにもプラモデルの素晴らしさに気づいて欲しいと願っています。公社の支援で培ったノウハウをもとに、「プラモデル文化を世界へ」という大きな挑戦を実現したいと思います。



販路・海外展開支援課 利用略歴

- 2018年11月
海外展開チャレンジ支援（海外プラン策定）の利用を開始
- 2019年2月
海外企業連携プロジェクトの利用を開始
- 2020年1月
企業連携ナビゲータ ベトナムサポートデスクの利用を開始

株式会社秋東精工

所在地：東京都江戸川区船堀 3-10-22
代表者：代表取締役社長 柴田 忠利
設立：1978年1月
資本金：1,500万円
従業員数：18名
URL：<https://www.syuto.jp>